

参加費無料

対象  
本学  
教職員

広報・社会連携本部 DEI 推進本部 合同セミナー

何から始める？

# 多様性に配慮した 情報発信

講師 小坂佳子 氏 (読売新聞生活部長)

10 / 27

金

事前申込

15:00-16:30 百年記念会館 大会議室

【お申込みはこちら】

ハイブリッド開催 定員 対面：40名 オンライン：100名 申込締切 10/23 (月)

お問合せ先：社会共創部広報課 (三分一)

内線 (2606) e-mail: k-hosa@general.hokudai.ac.jp

主催：広報・社会連携本部 広報・コミュニケーション部門/ダイバーシティ・インクルージョン推進本部  
社会共創部広報課

協力：読売新聞東京本社北海道支社



## 何から始める？多様性に配慮した情報発信

ダイバーシティ&インクルージョンという言葉は知っていても、どこか人ごとのように思っていないですか。何の変哲も無い自分の職場も、よく見渡せば、ひとりひとりの生活環境や価値観は異なり、多様性に満ちています。私たちが気持ちよく社会生活を送るために多様性への配慮はとても身近で大切なことなのです。

なぜ今、多様性に配慮した情報発信が必要なのか。そのために何から始めたらいいのか。文章や写真など媒体における表現についての留意点、さらに、もう少し広い意味での情報発信についても考えたいと思います。私自身が記者として、また管理職として、ときに失敗しながら学んだことを共有します。

# 10 / 27 金

15:00-16:30

百年記念会館 大会議室

ハイブリッド開催

- 対象：本学教職員
- 定員：対面 /40名 オンライン /100名
- お問い合わせ先：社会共創部広報課（三分一）  
内線（2606） e-mail : k-hosa@general.hokudai.ac.jp
- 申込締切：10/23（月）  
※参加には事前申し込みが必要です。右にあるQRコードよりお申し込みください。  
※応募者多数の場合、先着順とさせていただきます。

【申込みフォーム】



### 【講師紹介】

小坂佳子（こさか よしこ）読売新聞生活部長

1970年、東京生まれ。明治大学卒。1993年読売新聞社に入社。秋田支局、立川支局などを経て2000年から家庭面を担当。食や保育、働き方などについて幅広く執筆してきた。過去100年間に掲載した2万件以上の料理から次世代に伝えたいものを紹介する連載「100年レシピ」は書籍化された。16年に秋田支局長、18年に女性向けサイト「OTEKOMACHI」、ウェブ掲示版「発言小町」の編集長を務めた。22年6月から現職。

2019年から国際女性デーに女性活躍を推進するキャンペーンを展開。多様な人材が活躍できる社会を目指して活動している。

